

まき 広報

1977

2/10

第261号

発行／新潟県巻町役場 編集／企画課 毎月10日・25日発行

冬の味

『雪下の野菜が一番』



「雪の降る前に大根や白菜、キャベツ等を、こうして砂の中に入れてとっておくのが昔からの風習で今でも続いています。家の脇にあれば十間も二十間も雪の中をこぎいて行かなくてもいいんだがねエー」と、仁箇の大橋アキさんは、白い息を吐きながら今日も孫といっしょに夕食の支度にと、キャベツを雪の中から掘り出していました。



た じま 浩 一
田 島 浩 一

☆生年月日 五十年七月十日☆
住所 中郷屋☆両親の名まえ
勝広(父) 恵子(母) ☆続き柄
長男☆名づけ親 父☆名まえの
由来 広い心を持った人になる
ように☆愛称 コウちゃん☆好
物 バナナ、めん類

赤ちゃん登場



こ ばやし み さ こ
小 林 美 奈

☆生年月日 五十年六月十七日
☆住所 東町☆両親の名まえ
慎一郎(父) まち子(母) ☆続
き柄 次女☆名づけ親 母☆名
まえの由来 すなおでかわい
い女の子に☆愛称 ミナちゃん☆
好物 くだ物、めん類

みがき丸太

第五回 巻町みがき丸太品評会

市場の拡大が課題



の後に転じて減少してききました。資源の制約がある国産材は、四十三年以降減少を続け金供給量における割合が落ちていきます。一方、外材は増加の一途をたどり五十年には最高を示し、国内における外材依存度は高まるばかりになりました。しかし、良質の国産材の需要は順調に伸び高値となっており、これからの林業経営は「量より質」へと変わってききました。

みがき丸太の品質向上と生産者の所得増大を目的とした「第五回巻町みがき丸太品評会」が、町主催で一月二十一日福井みがき丸太生産組合（小熊長治組合長）において行われ、審査の結果、前年に増す品質の向上が見られました。二十二日・二十三日の二日間にわたり、市価より二割～三割の安さで即売され、百十万円の売上げとなりました。

経済の高度成長で順調に伸び続けてきた木材の需要は、四十八年を契機に建築件数が落ちこみ、そ

そこで、町では、優良な山林を保有している福井地区にみがき丸太の生産を奨励し、四十六年に福井みがき丸太生産組合が発足しました。みがき丸太とは、一般に丸太の樹皮をはいで木肌をみがいたものとか、さびつけをしたものをいっており、床柱やきりよけなどに使用されています。

六月に 即売会を開催

このことについて、小熊組合長は「わたくしたちの組合員は、木を売ることと本業としていないので、どうしても市場拡大の努力に欠けるきらいがあります。このた

忘れていませんか 国民年金の届け出

老齢年金受給者のみなさん、二月十五日までに「現況届け」を忘れずに提出してください。この届け出は、引き続き年金を受けるために受給者



のみなさんの現況を確認するためのもので、毎年一回提出してもらうことになっています。五十一年二月十五日以前から、国民年金の老齢年金や通算老齢年金を受けている人には、一月中旬に社会保険庁から届け出用紙が送られていますが、期日までに提出がなされない場合は六月期以降の年金を受けることができません。現況届けの記入方法に不明の点がありましたら、住民課へお問い合わせください。

忘れずに申告を

今年も所得税、住民税、事業税の確定申告をしていただく時期になりました。ご申告の納税額を算出するに当たって、お住まいの自治体から送られてくる「住民税申告書」を必ずお読みください。また、お住まいの自治体から送られてくる「住民税申告書」を必ずお読みください。また、お住まいの自治体から送られてくる「住民税申告書」を必ずお読みください。

◆ 住民税の申告が必要な人

①51年中に所得があり52年1月1日現在巻町に住所のある人。②51年中に所得があり52年1月1日現在巻町に住所のある人。③51年中に所得があり52年1月1日現在巻町に住所のある人。④51年中に所得があり52年1月1日現在巻町に住所のある人。

その他、生命保険料控除、医療費控除、住宅ローン控除など、申告が必要な項目があります。申告書の提出期限は、2月28日です。

2月28日から



私たちの身のまわりには、まだ十分使えるものが「ごみ」として捨てられています。昭和二十年前後を思い返してみてください。金風やガラスはもちろ



〔廃品回収業者を招いての生活学校〕

廃品再利用でごみの減量化

それというのも、使い捨ての風潮が私たちの日常生活に定着してしまっただけで、原因ではないでしょうか。毎日、使っている物、身につけている衣類などは、地球上から取り出した資源で限りのあるもの

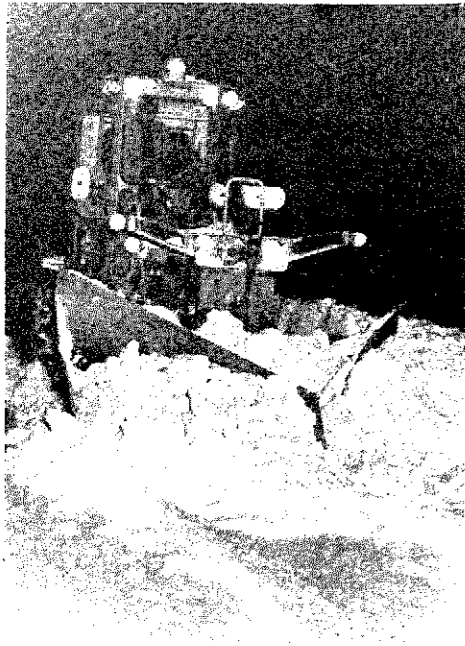
私たちが手に触れるものは、必ずいつかはごみになります。机も本も、テレビも自動車も、家までもなんでもごみになります。

納税相談

それだけにごみの問題は、生産の段階で、すでに始まっているわけですが、生産者も消費者もごみというより資源という観点から、資源を大切に一日一善というテレビコマーシャルも聞かれるこのごろ、資源の再利用や処理を考えた生活が強く叫ばれており、消費者としても「中身を選んで数少なく」を考える賢い消費者でなければなりません。

資源再利用の運動を展開 主婦の手で豊かな地域社会を築こうと、五十年に発足した巻町生活学校では、運動の一つとして資源の再利用や廃棄物を少なくするなどの考えで、昨年の十二月に古紙の回収を行いました。収集された古紙は、七トにもなり二万八千円のお金に還元されました。

▽深夜の除雪作業——馬堀地内
(2月2日午前3時写す)



**除雪作業夜通しで
交通網確保は町ぐるみで**

除雪体制には万全を期すようにしていますが、除雪する道路の距離が広範囲にわたっているためみなさんにご迷惑をかけていると



除雪距離—三千二百(km)

一月三十一日の夜半から降り始めた雪のため、除雪機械が総出動

昨年の暮れから合わせて三十回の出動になりました。除雪作業は、主に夜間行われるので、作業員は詰所での寝泊まりが続いており、一月末日までに除雪した距離は三千二百キロメートル、延人員三百六十人になっています。

除雪作業の最大の悩みは、路上駐車です。円滑な作業と安全な道路交通確保のため、みなさんのご協力をお願いします。

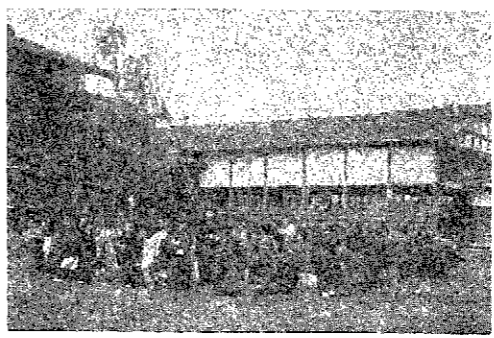
**除雪のガン
路上駐車**



△詰所で綿密な打合わせ
(二月一日午後七時写す)

**雪の投げ出しは
やめましょう**

また除雪車の通過後、各自の出入り口をふさぐ場合もありますが各自の協力で出入り口を確保するとともに、除雪後の残雪を路上や用排水路に投げ出さないようにしましょう。



②5 竹野町尋常小学校

旧竹野町尋常小学校は、明治9年現巻町農協峰岡支所の位置に開校しましたが、屋外運動場もとれない狭さのため大正元年に今のところ(昭和50年に廃校)へ移転しました。校舎は2階建てで教室面積50坪と平屋建て運動場の90坪でした。写真は当時のもので考えられ、広くなったので、屋外運動場で遊びを楽しむ女子生徒たちで、服装から察してお祝いの日ではないでしょうか。校舎わきの柳の木が印象的です。

写真提供者 峰岡 笹川和也
文 石山郷土資料館長

**加入をみでぐる家族
災害共済**

増える交通事故
見舞金の支払いは540万円

一日一円の会費で会員相互の助け合いを、発足したとばに、発足した県交通災害共済も八年目になりました。みなさんも、万が一の交通事故に備えて、家族ぐるみで加入しましょう。

見舞金

等級	災害の程度	金額
1	死亡した場合	(円) 700,000
2	自賠法施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合	400,000
3	治療を要した期間が6か月をこえ、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上のもの	130,000
4	治療を要した期間が5か月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のもの	100,000
5	治療を要した期間が4か月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上のもの	80,000
6	治療を要した期間が3か月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のもの	60,000
7	治療を要した期間が2か月をこえ、かつ、入院・通院の実治療日数30日以上のもの	45,000
8	治療を要した期間が1か月をこえ、かつ、入院・通院の実治療日数15日以上のもの	30,000
9	入院・通院の実治療日数7日以上のもの	10,000

五十一年度分は、三月三十一日有効期間が終了しますので、今月中旬に区長さんを通じて五十二年度の加入申込み書を各家庭へお送りします。会費は一人三百五十円で、三月

三十一日までに加入しますと四月一日から有効になりますので、現金を添えて早目に申込んでください。

◇一月末までの見舞金支払額
五百四十万円

町では、五十二年四月一日から五十二年一月三十一日までに五百四十万円(前年度は百三十六万五千円)の見舞金給付がありました。内訳は一等級五件で三百五十万円、二等級六件で六十三万円、四等級二件で十八万円、五等級四件で二十九万円、六等級二件で十一万円、七等級六件で二十三万円、八等級十二件で三十一万円、九等級二十件で十五万円となりました。

◇加入率は78パーセント

船検はお早め

小型船の所有者で、まだ船の検査を受けていない方は、早めに受検してください。なお、三月三十一日を過ぎますと航行できなくなる他、在米船検査緩和措置の恩恵を失い、安全法規が全面的に適用されます。

仲間が欲しい

**巻町農業振興協議会
西村欣策**

一月と二月に雪の季節を利用して、全町に自営者学級を進め農家の主婦のみなさんの「勉強の日」としてあります。今年、郡内の優秀な農家の一人から、農業に生きる自分の考えや、信条を聞かせてもらっています。農業では生活に「い」と言われているのをごろ、それぞれにすばらしい計画とアイデアをもった活動してられる姿に、みんなのため息をついています。もっと言葉をかえて言えば、「農業に生きる哲学」とでも言えるものをもってられることに感嘆しています。

水田四・二畝と豚豚常時二千頭という経営の中で、着実な生活をしておられる川上敏子さん。ハウスト畑作と水稲の複合経営で「も」ともと農家は好きでなかった」という娘時代を清算して、模範的な農業経営の中心になっておられる瀬戸百合子さん。そして、共同経営の中で「生産と生活」を有機的に結びつける農業の改革に、男まさりの活動を続け、家族総ぐるみの地域農業を作りあげようとして頑張っておられる本田マツ子さん。このほか、まだまだ学級の日程



とかく、学校教育だけに傾き人間を育てることを忘れる人々への鉄槌ともなっています。こうして、新しい見直し時代に挑戦する人たちの殖える時代ともなりました。しかし、これらの人たちがまだ仲間が欲しいと一様に叫んでいるようです。

▷とき 3月16日▷ところ 新潟市公会堂▷種類 甲種・乙種及び丙種▷手数料 800円▷申込み期限 2月14日から2月28日まで(申請書は、巻・潟東消防署にあります)▷申込み先 新潟市学校町通一番町 新潟県総務部消防防災課危険物係
くわしくは、巻・潟東消防署にお問い合わせください。

51年度危険物取扱者講習会

①わが家の家計簿 ▷原稿 400字詰原稿用紙5枚以内▷原稿送付先 新潟市寄居町344 日本銀行新潟支店内「新潟県貯蓄推進委員会」▷締め切り 2月28日
②わが家の暮らしのちえ ▷原稿 200字以内(用紙自由)▷内容 日常生活の合理化に役立っている工夫やアイデア▷その他 締め切り日と送付先は①と同じ。くわしくは、企画課へお問い合わせください。

体験談の募集



お知らせ

結核健康診断

▷とき・ところ 2月25日9:30~11:30 公民館 13:00~15:00分室▷対象者 3年以上一度も受けていない人、または昨年受けていない人▷受診料 無料

町民講座

▷主催 緑と土に親しむ会、公民館▷講座内容 松の作り方と育て方について▷とき 2月20日13:00~16:00▷ところ 公民館▷講師 巻農業高等学校内山先生

町民卓球大会

▷とき 2月20日9:00▷ところ 巻小学校▷種目 団体戦、個人戦(ただし団体のチーム編成は、男子3名女子1名以上とする)▷資格 高校生を除く一般町民▷申込み 2月15日までに公民館へ

新潟高校通信制の生徒募集

▷入学資格 中学卒業と同等以上の学歴の者(年齢不問)▷募集人員 ①卒業コース(高卒資格の取得を目的)②編入コース(高校中退し編入学を希望)③科目別コース(希望科目のみ学習)▷願書受け付け 2月21日~4月11日▷選抜方法 書類選考(試験無し)▷願書請求 返信用封筒に、あて名を明記し切手60円を添えて、新潟市関屋下川原2 県立新潟高等学校通信制へ

作業停電

▷2月18日9:00~13:00、7区~11区(本町通り巻信用組合から諏訪神社)地域の一部▷2月24日9:00~14:00、赤さび地域及び安尻地域の一部

善意

社会福祉に役立ててほしいと、次のみなさんからご寄付がありました。▷山田里恵子さん(5区)から1,001円▷新潟交通巻営業所の民謡クラブから6,000円▷諸橋キヨ子さん(横浜市)から3,000円

うぶごえ (昭和51年12月21日~52年1月20日届出分)

姓	名	出生年月日	戸籍簿番号	区名
成	田	11.17	裕	1 区
伊	藤	12.9	裕	1 区
山	本	12.11	治	馬 野
小	林	12.12	洋	松 野
青	柳	12.13	光	堀山 団地
川	村	12.13	克	鷺ノ野
大	沢	12.14	貞	4 区
佐	藤	12.14	巖	3 区
渡	辺	12.15	莞	1 区
藤	田	12.17	一	舟東 6 戸
高	田	12.18	一	松野 尾
山	杉	12.19	久	13 区
齊	本	12.20	一	10 区
小	田	12.20	昌	9 区
高	杉	12.20	与	9 区
金	子	12.20	二	9 区
岸	本	12.23	秀	9 区
上	原	12.25	吉	伏 部
本	間	12.26	彰	堀山 団地
鈴	木	12.27	和	12 区
八	木	12.27	宗	馬 野
久	保	12.28	基	5 区
小	川	12.29	勇	3 区
本	間	12.30	俊	1 区
土	田	12.30	宏	1 区
大	橋	12.30	平	13 区
上	村	1.1	達	11 区
小	野	1.1	清	大 野
中	野	1.1	和	11 区
本	樋	1.2	福	3 区
樋	浦	1.3	國	3 区
酒	井	1.4	豊	11 区
遠	藤	1.4	正	11 区
石	田	1.6	清	ノ 野
山	本	1.6	一	12 区
沢	田	1.8	進	1 区
小	川	1.10	健	1 区
小	林	1.10	子	1 区
伊	藤	1.10	美	1 区
富	山	1.13	都	1 区
富	己	1.13	司	1 区

おくやみ (昭和51年12月21日~52年1月20日届出分)

姓	名	死亡年月日	年齢	区名
洪	谷	12.20	65	馬 野
雨	木	12.24	60	峰 岡
石	太	12.27	80	10 区
大	滝	1.1	88	10 区
藤	田	1.3	65	舟 戸
鈴	木	1.3	81	越 前
竹	石	1.4	67	河 井
間	宮	1.4	78	並 岡
田	久	1.5	72	桜 林
小	林	1.5	69	1 区
相	模	1.7	87	1 区
石	川	1.7	67	11 区
佐	藤	1.8	80	9 区
佐	藤	1.9	78	河 井
山	藤	1.11	69	河 野
山	賀	1.17	69	松 野
山	賀	1.17	80	松 野

外 科

11日	伊藤医院	吉田(3)	3115
13日	竹前医院	(3)	2809
20日	県立吉田病院	吉田(2)	5111
27日	巻病院	(2)	3111

2月休日救急病院

内 科

11日	笠原医院	(2)	6161
13日	西川医院	(2)	6066
20日	巻病院	(2)	3111
27日	長沼医院	(2)	2210

2月の納税

固定資産税 第4期分

納期限 2月28日